

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 8 年 6 月 5 日

佐賀県知事 山口 祥義 殿

提出者

住 所 佐賀県唐津市相知町千束2000番地

氏 名 将栄建設株式会社

代表取締役 毛利 学

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0955-62-2950

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	将栄建設株式会社
事業場の所在地	佐賀県唐津市相知町千束2000番地
計画期間	令和8年4月1日～令和9年3月31日(1年間)
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	57,900万(令和7年度)
③従業員数	26名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	※ 別紙添付

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和7年度）実績】

産業廃棄物の種類

別紙のとおり

別紙のとおり

排 出 量

別紙のとおり

t

別紙のとおり

t

(これまでに実施した取組)

- ・ 施工計画の中で、再生利用等を考慮した再生資源利用計画書を作成・実施を指導、実施している。
- ・ 施工計画の中で、排出抑制を考慮し、再生資源の利用等実施を指導している。

②計画

【目標】 令和8年度

産業廃棄物の種類

別紙のとおり

別紙のとおり

排 出 量

別紙のとおり

t

別紙のとおり

t

(今後実施する予定の取組)

- ・ 施工計画書作成時、発生材の再利用を計画、顧客に提出、承認を得て再利用を推進する。
- ・ 資源環境型社会の構築を図る為、Con・As・木材等は、リサイクル施設のある中間処理業者との委託契約を必ず実施する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

- ・ 計画時に分別の有無の確認を行い、できる限り分別し処分する事を教育している。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

各作業所で産業廃棄物の種類で分別できるように処理計画を立案する。
仮置時は集積場所を指定。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 令和8年度		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 令和8年度		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 令和8年度		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	(これまでに実施した取組)		
	・産業廃棄物を委託できる業者と書面による契約を行っている。		

②計画	【目標】 令和8年度		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	(今後実施する予定の取組)		
	・可能な限り優良認定処理業者、再生利用業者へ委託処理する。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(第2面)

[illegible]

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項														
①現状	【前年度（令和7年度）実績】													
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	建設汚泥	廃プラ	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物							
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標 令和8年度													
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	建設汚泥	廃プラ	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物							
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】														
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	建設汚泥	廃プラ	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物								
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】 令和8年度														
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	建設汚泥	廃プラ	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物								
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の八(第八条の四の五関係別紙)

(第4・5面)

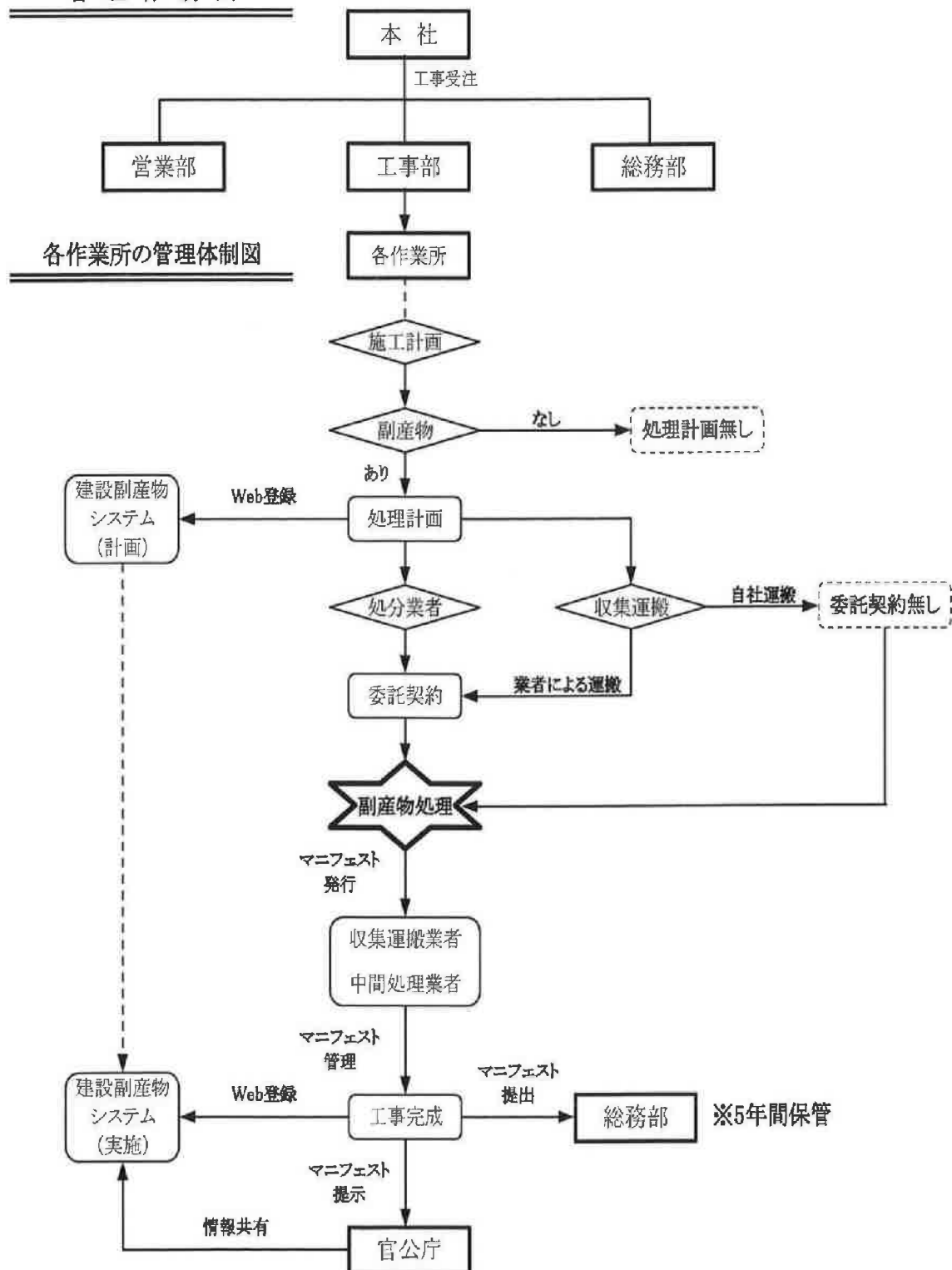
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】														
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	建設汚泥	廃プラ	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物								
	自ら埋入処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】 令和8年度														
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	建設汚泥	廃プラ	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物								
	自ら埋入処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

[illegible]

管理体制図



④産業廃棄物の一連の処理の工程

